



泰山木

ホームページ <https://bakuro-e.takaoka-school.jp>



家庭科研究推進 異世代交流から学ぶ

校長 森田 芳栄

目まぐるしく変化する時代や社会。この博労校区には、福祉センターや災害ボランティアセンター等、市の福祉や防災の中心を司る施設が多く、地域には学ぶべき大人、頼りになる大人にあふれています。自分たちのふるさとに誇りをもち、愛し、愛され、新たなふるさと、希望あふれる未来を、子供たちが主体となり、子供たちの手で築いてほしいと願っているところです。〈11.6 閉会の挨拶より抜粋〉

本校は、富山県小学校教育研究会より二年間の家庭科の研究指定を受け、今年6日に二年目の研究発表会を終えました。6年生「共に生きる地域での生活『博労幸せプロジェクト』」の授業公開、そして研究経過報告を行いました。子供たちがそれぞれの思いをもって課題と真剣に向き合う姿や、自己調整しながら活動の改善を図る姿は、他校の先生方からもお褒めをいただきました。



本校の子供たちには、課題と真剣に向き合う素直な態度、友達と協働して学びを深めていこうとする態度が育っています。これは本校の学校風土といえるでしょう。このような学校風土がどのようにして醸成されてきたかという、これまで長きにわたり本校教員が真摯に授業改善・研究推進に取り組み、子供も教職員も『最善の努力』『真剣なる実行』を積み重ねてきたからだと考えます。

昨年度は「衣食住」「消費生活」に重点を置いて研究を進めてきましたが、本年度は家庭や地域と連携を図りながら、「地域の人々との関わり」について考えることを中心にしました。総合的な学習の時間や国語等との教科横断的な取組を公開するのはまだほとんど例がなく、これは本校の「挑戦」でもありました。それができたのも、人と人が温かくつながり、素敵な大人でいっぱい博労校区だからこそでした。高齢者？いえいえ、人生の大先輩と子供たちの交流では、「相手の気持ちを想像する」という、人と関わる際の『一丁目一番地』に気付くことができました。また、最初は「～してあげる」とか「～してもらおう」という行動でも、そのうち、一方的なものではなく、どちらにも幸せな気持ちが生まれていることに気付き、「互いに～しあう」といった関係に価値を見いだしていきました。そして「幸せは一人ではもったいない」「みんなが幸せなのがいい」という意識にまで高まっている素敵な博労っ子です。



みんなで取り組んだ幸せプロジェクトで得た喜びや自信を糧に、日常の中で、小さなことから一つずつ、幸せの種まきをしてほしいと思っています。

学校集金システム変更のお知らせ・お願い

本校では、これまで学校集金をゆうちょ銀行の口座より振替をさせていただいておりましたが、南星中学校区では石川コンピュータサービスを介して振替を行っていることから、次年度より本校も同様にさせていただくこととしました。このシステムを利用することにより、保護者の皆様の都合のよい生活口座等を指定いただくことができるようになります。手数料が60円必要となりますが、諸費高騰の折、どうぞご理解・ご協力のほどお願いいたします。詳細につきましては、11月中に案内を配付いたします。



博勞っ子日記「たいさんぼく」



【10月13日】（1年）
PTA親子活動「ミニ運動会」



【10月20日】（2年）
PTA親子活動「レクリエーションフェスティバル」



【10月27日】（5年）
PTA親子活動「親子の運動遊び」



【11月16日】（3年）
PTA親子活動「テーブルを楽しもう」



【10月22・23・24・28日】
（6年）地域での交流会



【10月28日】（1、2年）
校外学習（ファミリーパーク）



【11月1日】（全校）
ランニング大会



【11月3日】（5年）
高峰譲吉生誕祭参加



【11月10日】（4年）
博勞公民館まつり参加



【11月13日】（1年）
保小交流「なかよし集会」



【11月11～14日】（全校）
落ち葉拾いボランティア



【11月14日】（小中児童生徒会）
小中合同さわやか挨拶運動

